



《 令和4年度を振り返って 》

会長 加茂 哲夫

令和4年度は、浜松まつりが5月の連休に開催されるなどイベント等の開催が多くなり日常生活が戻りつつあります。

少子高齢社会といわれて久しい状況の中、今後まだ高齢者世帯や一人暮らしが増えていきます。住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりには、住民が主体となって行動することが重要になります。そうした状況に対応するために、家事支援、高齢者交流会、つながりづくりのサロン活動、ふれあい相談室の開催など、本年度の活動計画の実現を図るべく感染対策を取りながら活動してきました。



地域での福祉を向上させるためには、住民相互の顔が見える関係づくりと、支援する側と支援される側という関係ではなく双方向の支え合いが必要です。活動を推進していけるように自治会や地域住民の理解を得て地域支援を推進し、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進していきたいと思っております。



初生・三方原地区民生委員児童委員協議会

新会長 ご挨拶

会長 遠山 秀敏

昨年11月の民生委員児童委員一斉改選に伴い、新しく会長となりました遠山です。



初生・三方原地区では、31名の民生委員児童委員（主任児童委員含む）がそれぞれの地域で活動しています。私達の活動は、「地域とともに」という気持ちを持ち、「地域共生社会」の実現をめざして活動することが基本的な活動方針であります。

私達一人一人は、自身にも不安や心配がありますが、民生委員児童委員として、自分ができることから一つずつ取り組み、地域の皆様と一緒に活動

したいと思っております。

さて、三方原地区社会福祉協議会の活動には、31名の民生委員児童委員が参加して活動しています。

地域の皆様方と、いろいろな行事等でご一緒させて頂く事が多いと思っております。その折には、よろしくお願ひいたします。

*民生委員児童委員は、地域住民の身近な相談相手であるとともに支援へのつなぎ役です。民生委員は児童委員も兼任しています。

*主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当し、学校などと連携して地域の「子育て応援団」として様々な活動をしています。

令和5年度 定期総会開催のお知らせ

日時：令和5年4月22日（土曜日）13:30~15:00

場所：三方原協働センター 1階ホール

～～～ 本号の内容 ～～～

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1面 ▶ 三方原地区社協 会長挨拶 | 3面 ▶ 三方原協働センターまつり |
| 1面 ▶ 初生・三方原民児協 新会長挨拶 | 3面 ▶ はつおいサロン 開設 |
| 1面 ▶ 定期総会のお知らせ・本号の内容 | 4面 ▶ 三方原小学校「原っ子タイム」 |
| 2面 ▶ 認知症ひとり歩き声掛け模擬訓練 | 4面 ▶ 編集後記 |

三方原地区社協
QRコード



認知症高齢者ひとり歩き (徘徊) 声かけ模擬訓練

令和4年11月14日(月)
主催：地域包括支援センター三方原

声掛けのポイント

驚かせない!
急がせない!
自尊心を傷つけない!



オレンジシール

地域包括支援センター 三方原センター長 堀水 千恵

令和4年11月14日、認知症高齢者ひとり歩き(徘徊)模擬訓練を三方原小学校区にて実施しました。

通報⇒連絡⇒保護の流れや、認知症の方への声かけ対応を学び、体験する事で地域住民の認知症への理解を深め、有事の際に早期発見と対応ができる事を目的とし、市内の包括圏域内で実施しています。

訓練では、三方原小学校、自治会、地区社協、民児協、シニアクラブ、警察、金融機関、商店、介護サービス事業所等、様々な機関にご協力をして頂きました。

当日は地域住民の中から、帰れなくなった認知症高齢者役に扮して地域を歩いて頂き、その方が安心できるような声掛けを行い、警察に繋ぐという訓練でした。皆様、見事に役をこなし、『難しかったけど、認知症の人の気持ちがわかった』『心配な方がいたら、声をかけてみる』等のご理解を頂きました。多くの皆様のご協力を頂き感謝申し上げます。帰れなくなった認知症高齢者の早期発見と安全確保のためには、地域の皆様による見守りが何より重要です。地域で不自然な様子の高齢者の方を見かけたとき、迷うことなく声掛けして頂けますようお願いいたします。

また包括三方原では、認知症により徘徊のおそれのある高齢者の方にオレンジシールの事前登録と、その人が家に帰れなくなった時に、早期に安全に保護し自宅に帰れるよう、地域での見守りを行うオレンジメール(☆)登録の窓口になっています。心配な方がいらっしゃいましたら、包括三方原(☎428-6333)までご連絡頂けますようお願い申し上げます。



☆ オレンジメール 認知症状により自宅に帰れず方が一所在不明となったとき、いち早く安全に発見するために、メール配信の登録をした見守り協力者に行方不明者情報のメール配信を行い、捜索協力をお願いして情報を得るシステムです。



声掛け訓練出発前の説明



高齢者役の皆さん



あなたの一言で
助けられる人が
います



声掛け訓練の説明を受けて挑戦



三方原小4年生114名も声掛けに参加



通りすがりの女子大生も声掛け



相手の言葉に耳を傾けて



身元確認をして警察に通報



協働センターまつりが始まります



作品展示のコーナー



三方原地区社協のブース



石ころアートのコーナー



ホームページの説明



輪投げコーナー

「三方原協働センターまつり」は新型コロナウイルス感染防止のため2年続けて中止となり、今回は2年のブランクを経ての開催となりました。「コロナ下でも開催可能な内容」を考えて地域活動団体の皆様のご意見も伺いながら開催の準備を進めました。

「密を避けるため告知は『協働センターだより』の自治会回覧」「飲食・古本市・餅つき中止」「芸能発表はDVDに事前録画」など、例年とは違う開催内容に戸惑いの声もいただきましたが、「しばらくぶりの開催だから」と地域活動団体の皆様からご協力をいただきました。

「今できること」を考えて体育館全面使用の「協働センターまつり」となりました。浜松北地域まちづくり協議会が委託を受けて初めて実施するセンターまつりでした。皆様のご協力とご支援に感謝申し上げます。

浜松北地域まちづくり協議会
会長 波多野千津子

待望の『はつおいサロン』がスタート!

はつおいサロン
が始まります

第一回は
来年1月19日(木) 10:00~
居場所として、おしゃべりやゲーム歌など
楽しく過ごせる場所です。
皆様とまたかいかい場所になりたいと思いま
すので是非ご利用ください

はつおいサロン
おしゃべりやゲーム歌など
たのしく過ごせる居場所です

会場： 初北公会堂 ホール
開催日： 毎月第一・第三木曜日
開催： 10:00-12:00
会費： 無料 (お茶とお水は各自持ち帰り)
問合せ： 090-5879-5409(無料まで)

今回のサロンは実行委員の募集から始まりました。昨年11月24日の第1回実行委員会は初北公会堂に10名の参加者が集まりました。まず会の名前を『はつおいサロン』と決めた後、活動の内容などを話し合い、会場は初北公会堂に、開催日は第1・第3木曜日の午前中としました。

1月19日の第1回のサロンには23名の参加があり、トランプや歌を歌って楽しみました。2回目以降はポッチャをはじめ楽しいゲームなどもしたいと考えています。誰でも自由に参加できますので是非おいでください。



福祉交流部会長
木村 百合子



「はつおいサロン」は
おしゃべりやゲーム・
歌など楽しく過ごせる
居場所です



元気にロコモ体操



ゲームで遊ぼう

三方原小学校 「原っ子タイム」

テーマ
～ やさしさを手から手へ ～

- ◆ 令和4年10月14日
「三方原にはどんな福祉があるのかな？」
- ◆ 12月2日
「おしゃべりタイム」と「昔の遊び」
- ◆ 令和5年2月15日
「やさしいお祭り広場へようこそ」
- ◆ 2月24日
「三方原音頭を引き継ごう」
- ◆ 3月3日
「やさしいお祭り広場へようこそ まとめ」

「4年生が地域と交流」

三方原小学校ではこの一年間、4年生が『やさしさを手から手へ』をテーマに福祉について学習をしてきました。

地域と学校の関わりについて担当教諭から相談を受けた当地区社協では、学校の意向に全面的な協力を申し出ました。以後学校の授業方針を基本に、子供たちと交流を図ろうと連携して準備を進めました。

10月から3月まで計5回の交流では、「おしゃべりタイム」「お祭り広場」「三方原音頭の練習」などに多くのシニアクラブや民生委員、後半には学校の呼びかけに応じて参加した児童の家族も含め地域の参加者が数十名になりました。最後にはこの授業のまとめとして覚えたての「三方原音頭」に全員が参加し大変有意義な交流となりました。



開会式



三方原社協ってどんなことしているの？



三方原音頭を踊りたい



練習して全員で三方原音頭を踊りました



おしゃべりタイム




大人の人も「おはじき」や「めんこ」など昔の遊びを思い出して楽しめました



お祭り広場
紙ひこうき上手にできた



お祭り広場では何を売っているのかな？

編集後記  今年は一段と寒さが厳しく、コロナとの戦いでもありました。それにも負けず各専門部会が工夫を凝らし、活発な地域福祉活動ができたことをこの広報紙で紹介できることを大変うれしく思います。コロナもまだ予断を許さない状況が続いていますが、一日も早く平穏な日常が戻ってくることを心より願っています。

～ 広報部会 猿田金昭 ～